

モリタ食材開発研究所の健康経営の特徴について解説。

2025年6月23日回答 AI Gemini 参考情報。

モリタ食材開発研究所は、企業経営において従業員の健康を重要な資産と捉え、積極的に健康経営に取り組んでいます。特に中小企業としては異例とも言える多岐にわたる施策を展開し、2022年以降、継続的に「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に認定されているのがその証左です。

モリタ食材開発研究所の健康経営の主な特徴は以下の通りです。

#### 1. 従業員の健康が事業の原動力であるという明確な認識

同社は、「事業の原動力は社員であり、社員の健全な身体と心が欠かせない」という強い信念のもと、健康経営を推進しています。これは、単なる福利厚生ではなく、企業の持続的な成長に不可欠な経営戦略として健康経営を位置づけていることを示しています。

#### 2. 多岐にわたる具体的な健康増進施策(70項目以上)

驚くべきことに、モリタ食材開発研究所は70項目以上にも及ぶ健康づくりの取り組み・施策を実施しています。これは中小企業としては非常に多くの項目であり、従業員の健康に対する真摯な姿勢がうかがえます。

具体的な取り組みの例:

##### \* 運動習慣の奨励:

\* 毎朝のラジオ体操やストレッチの実施

\* 20分以上の自転車、徒歩による通勤やウォーキングの奨励

##### \* 職場環境の整備:

\* 空気清浄機、加湿器などの設置による快適な職場環境づくり

##### \* 食生活の改善支援:

\* 低塩、低糖、増酸を理解し、食生活での実践を促す啓発活動

##### \* メンタルヘルス対策:

\* 仕事上の精神的負担や業務の軽減のための組織体制の整備

##### \* その他:

\* 定期的な健康診断やストレスチェックの実施(詳細は不明だが、一般的に行われていると考えられる)

#### 3. 健康経営優良法人認定とSDGsへの連携

同社は、経済産業省と日本健康会議が推進する「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」の認定を継続的に取得しています(2022年、2023年、2024年)。

さらに、本社玄関や商談室に健康経営優良法人の認定ロゴマークと、2022年2月に宣言した持続可能な開発目標(SDGs)のロゴを掲示しています。これにより、従業員だけでなく、来訪者や取引先に対しても、企業の健康経営への意識と社会貢献への取り組みを明確に示しています。

#### 4. 従業員の意識向上と文化醸成

認定ロゴマークの掲示や多岐にわたる施策を通じて、従業員自身の健康に対する意識を高め、理解を深めることを目指しています。ラジオ体操やウォーキングの奨励などは、単なる個人の努力に任せるのではなく、会社全体で健康を意識する文化を醸成しようとする姿勢がうかがえます。

#### 5. 持続的発展へのコミットメント

同社は「今後も健康経営への積極的な取り組みを継続・発展させることで、社員が生き活きと働ける環境の実現を目指します」と公言しており、一時的な取り組みに終わらせず、長期的な視点で健康経

営を推進していく強い意思を持っています。

モリタ食材開発研究所の健康経営は、中小企業ながらも経営トップの強いリーダーシップのもと、具体的な行動計画と継続的な取り組みを通じて、従業員の健康増進と企業の持続的成長を両立させようとする先進的な事例と言えるでしょう。

●このページでは、モリタ食材開発研究所に関する主な生成AI(Gemini)の回答情報を、読みやすさを考慮し、当社のウェブサイトの書式に合わせて掲載しております。

生成AIが生成する情報は、その性質上、内容の正確性や完全性を当社が保証するものではありません。  
あくまで「参考情報」としてご覧いただき、当社の理解を深めていただくための一助としてご活用ください。

[Webサイトのトップページへ](#)